



# 四月(小) 卯 月

うづき

箕宿

四月四日清明の節より  
月命甲辰六白金星の月  
晴剣殺西北方

旧三月小  
四月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
1日	土	つちのたま	七赤	新学年、新会計年度、親鸞聖人誕生会、 岐阜伊奈波祭、エープリルフル 旧二月小	五	先勝	たいら	胃	神よし	5.28	18.03	8.31	22.38
2日	日	つちのひび	八白	香取神宮御田植祭、日光輪王寺強飯式	六	友引	さだん	昂	神よし	5.27	18.03	9.22	23.41
3日	月	かえさる	九紫	隠元禪師忌、庚申	七	先負	とる	畢	大みやう	5.25	18.04	8.07	21.24
4日	火	かのと	一白	清明三時一七分、 奈良竜田大社祭	八	佛滅	とる	背	大みやう	5.24	18.05	8.55	22.52
5日	水	みづのえいぬ	二黒	不成就日	九	大安	やぶる	参	月とく	5.22	18.06	10.17	15.42
6日	木	みづのと	三碧	春の全国交通安全運動(15日迄)、 八せん終り	十	赤口	あやぶ	井	●	5.21	18.07	12.16	17.12
7日	金	きのえ	四緑	法然上人誕生会、世界保健デー、 甲子、一粒万倍日	十一	先勝	なる	鬼	くま日	5.20	18.07	13.17	20.02
8日	土	きのと	五黄	花まつり、灌仏会、神道修成派大祭	十二	友引	おさん	柳	くま日	5.18	18.08	14.18	20.56
9日	日	ひのえ	六白	笠間稻荷春季例大祭、長浜曳山祭(17日迄)、 京都今宮神社やすらい祭	十三	先負	ひらく	星	くま日	5.17	18.09	15.18	22.20
10日	月	ひのと	七赤	京都平野神社桜祭、一粒万倍日	十四	佛滅	とづ	張	くま日	5.15	18.10	16.16	22.55
11日	火	つちのえ	八白	望一五時〇八分、 メートル法公布記念日	十五	大安	たつ	翼	五む日	5.14	18.11	17.14	23.27
12日	水	つちのと	九紫	世界宇宙飛行の日、(己巳)、 大津日吉大社山王祭(15日迄)	十六	赤口	のぞく	軫	母倉	5.13	18.12	18.10	23.58
13日	木	かえうま	一白	京都嵯峨虚空蔵十三詣り、 大つち、三隣亡、不成就日	十七	先勝	みつ	角	母倉	5.11	18.12	19.06	24.11
14日	金	かのと	二黒		十八	友引	あやぶ	亢	大みやう	5.10	18.13	20.55	25.00

役所、会社の年度始め、新学年、新入社等、新しい何か動き始める躍動の月である。

気温は一日と上がり、陽光も明るさと強さを増してくる。上旬には南のほうから桜前線が順調なペースで北上してこよう。

〔冠〕幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学まで、青少年たちにとって新学年は一つの関門、そして新学年はこれから始まる一年間のスタートラインである。

また、大きな転機として就職がある。社会人としての自覚と責任をたずさえて、荒海へと旅立つのだ。昔であればさしずめ初陣というところであろう。

〔播〕陽気がよく、シーズンとしてはまことに最適といえよう。結婚式を挙げる人も多いが、披露宴などにも招かれる人も多岐に達しない。そんなとき、スピーチをする人は当然のこと、短

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
15日	土	みづのえさる	三碧	高山山王祭	十九	先負	さだん	戌	大みやう	5.09	18.14	19.41	13.09
16日	日	みづのと	四緑	復活祭、京都松尾大社中西大祭	廿	佛滅	とる	房	神よし	5.07	18.15	20.22	13.39
17日	月	きのえいぬ	五黄	土用四時四七分、科学技術週間	廿一	大安	やぶる	心		5.06	18.16	21.13	14.14
18日	火	きのと	六白	発明の日、天理教教祖誕生祭	廿二	赤口	あやぶ	尾	●	5.05	18.17	22.22	14.59
19日	水	ひのえ	七赤	下弦一八時五七分、一粒万倍日	廿三	先勝	なる	箕	母倉	5.04	18.17	23.29	15.12
20日	木	ひのと	八白	穀雨六時二七分、郵便週間、郵政記念日	廿四	友引	おさん	斗	よし	5.02	18.18	24.40	15.41
21日	金	つちのえ	九紫	小つち、天しや、不成就日	廿五	先負	ひらく	牛	よろづ	5.01	18.19	25.00	16.12
22日	土	つちのと	一白	靖国神社春祭、一粒万倍日、 多賀大社古例大祭	廿六	佛滅	とづ	女	神よし	5.00	18.20	25.59	16.43
23日	日	かえさる	二黒	京都伏見稲荷神社幸祭、 京都松尾大社神幸祭	廿七	大安	たつ	虚	くま日	4.59	18.21	26.38	17.14
24日	月	かのと	三碧		廿八	赤口	のぞく	危	天おん	4.57	18.22	27.37	17.45
25日	火	みづのえ	四緑	奈良興福寺文殊会、三隣亡	廿九	先勝	みつ	室	百事よし	4.56	18.23	28.36	18.16
26日	水	みづのひび	五黄	朔二時一六分 旧四月大	朔	佛滅	たいら	壁	天おん	4.55	18.23	29.35	18.47
27日	木	きのえさる	六白	和歌山道成寺会式、十方ぐれ入り	二	大安	さだん	奎	大みやう	4.54	18.24	30.34	19.18
28日	金	きのと	七赤	日蓮宗開宗会	三	赤口	とる	婁	神よし	4.53	18.25	31.33	19.49
29日	土	ひのえいぬ	八白	昭和の日、京都壬生狂言、米沢上杉まつり、 奥州日高火防祭、御嶽山火救火渡祭、不成就日	四	先勝	やぶる	胃	五む日	4.52	18.26	32.32	20.20
30日	日	ひのと	九紫	佐賀有田陶器市(29日)5月5日	五	友引	あやぶ	昂	●	4.50	18.27	33.31	20.51

挨拶にも注意をしなければいけない。ことに縁起の悪い言葉を使わないことである。例えば、戻る、再び、去る、重ね、返る(帰る)、離れる、薄い、等、たかが言葉尻ではないか、と思ふかもしれないが、めでたい人生の門出にトラブルがないほうが望ましい。

〔祭〕四月八日は、仏教の祖、釈迦牟尼(しゃくむに)が生まれた日である。釈迦はインドのヒマラヤ南麓の子として生まれ、幼名は悉達多(しつたると)といひ、三十五歳で仏道の悟りを開いて後、八十歳で入滅するまで、四十五年間布教に専念されたといひ。

その釈迦誕生日、一般には「花まつり」といっているが、正式には灌仏会(かんぶつえ)、仏生会などと呼ばれ、花で飾った小さなお堂を作り、誕生仏の像をまん中に安置し、その頭上から竹柄杓で甘茶を三回そそいで拜むならわしがある。

二十九日は「昭和の日」、激動多難の時代を歩まれ、太平のもとを切り拓かれた昭和天皇の誕生日である。  
(平成十九年施行)